



柔らか素材の滑り台で遊ぶ子どもたち

寒波の影で寒い日でしたが、1月19日(木)この日は、8組の親子が来てくれました。おもちやを出すと、柔らか素材で作られた滑り台で遊ぶ子どもたちの動きが癒やされます。園庭に飛び出せば、風の子ががんばって、応援していました。

子育て広場「アリス」
こどももの動きに癒やされて

ボランティアグループ 近況あれこれ

介護衣料手作り「糸ぐるま」

介護製品製作に奮闘

昨年の「ふれあい広場」が終わり、介護用エプロン、車いす用手提げバッグ、薬入れ等、次に向けての製作に追われています。ヘルパーステーションを介して、介護衣料の依頼も増えて総勢21名で力を合わせ依頼に応じていきます。



介護衣料品の製作にがんばっています

在宅訪問「陽だまり」

OBを交えて新年交流会

1月18日(水)、ボランティアセンター1階活動室で新年交流会を開きました。

今年はOBの方を交えて、現役の頃のお話を伺いながら、日頃の活動について情報交換をし、お互いの認識を共有しました。そして明日への活動に向かってみんなの気持ちを一つにできました。



車いすダンス「ひまわり」

メンバーが1人増えました



施設で活動中の池田徳子さん

息た池昨年10月に、新会員に静岡から何処へ行くのにも分野に移動、溶けれる積極派です。ダンスに

平成28年度ボランティア・市民活動団体研修会

本当はすぐそばにあるココロの病の話

心の病と付き合いながら、この交野で暮らしている人がいます。しかし、困っていることは、見た目ではわかりにくいです。交野市ボランティアセンターでは、そういう方からの、ボランティア依頼が増えています。

心の病について、ウワサやニュースで聞くけれど、実はよく知らない「もし、自分の言葉や行動が相手を傷つけたら」「もし、予想外のことがおきたら」と、活動に踏み出せない人もいるかもしれません。でも、「もし、少しの理解と応援があれば」助け合い、暮らしやすくなる人がいるかもしれません。

今回は、心の病について改めて学び、当事者の方からのお話や、ボランティア活動例をご紹介します。

日時 平成29年2月16日(木)14時～15時30分
 場所 ゆうゆうセンター2階:お年寄り健康教室・体験学習室
 内容 講演「心の病について」、当事者の方のお話
 ボランティア事例紹介
 講師 障がい者相談支援センター明星 センター長 杉原導子氏
 対象 交野市や近辺在住在勤又はボランティア・市民活動団体の方
 申込み 2月10日(金)までに、交野市ボランティアセンターへ FAX でお送りいただくか、お電話でご連絡下さい
 電話/FAX 072-894-3737
 メール katabora@nke.eonet.ne.jp

ボランティア インタビュー51



すがこ
渡邊清子さん
手話「さつき」



ボランティアを始められ
たきつけは

枚方市の手話グループでも活動していましたが、10年ほど前に交野市で手話講座があるのを知り、受講しました。その後「さつき」に入会しました。

やってみての感想は？

最初は不安がありましたが、優しいメンバーに囲まれて楽しく活動しています。「さつき」は午前と午後のグループに分かれて、少し違いがありますが、クリスマス会や親睦会(年度末の活動の締めくくり)はメンバー全員が集まり、グループの活動を共有する機会になっています。

ご家庭の様子は？

子どもが巣立って、主人と二人暮らしです。なるべく二人で出かけようになっています。寒い時期は温かい海辺へ、暑い時は涼を求めて森林帯への小旅行をしています。

ご趣味は？

日本画を始めたいはよいけれど、奥が深くいろいろな苦勞しています。でも続けなければいけません。

これからの活動について

もっと若い時からしておけばよかったと反省しています。貰った感謝の日々です。もう少しお役に立てるようになります。

登録ボランティアのみなさまへ ボランティア登録継続意思確認のご案内

ボランティアグループに所属している人は

グループリーダーへ活動の継続・休会・退会のいずれかを連絡してください。また、連絡先（住所・電話番号等）の変更がある場合は、その旨を連絡してください。確認後、必要がある人にはセンター事務所から問い合わせをさせていただきます。場合があります。

個人で登録したボランティアの人は

センター事務所から往復ハガキをお送りし、活動確認を行いますので、継続・休会・退会のいずれかを連絡してください（2月24日までにハガキの返送をお願いします）。
センターを通して、定期的に活動依頼のある方にはハガキによる活動確認を行

いませので、休会や退会の意向がある場合は、その旨をセンターへ連絡してください。

ボランティア活動保険

ボランティアセンターへの依頼に対し、ボランティア活動をする時点で保険加入の手続きを行います。その他、活動を始められる際はボランティアセンターまでご連絡ください。また活動していただくにあたって、依頼元（個人・団体）からセンターへ依頼書を提出していただく必要があります。詳細はセンター事務所へお問い合わせください。

訂正とお詫び

なかも前号2頁の要約筆記「星の会」の記事で見出しと本文及び3頁の一部を訂正しました。修正版は社協ホームページで「確認ください」。

リーダー会議

(1月24日)

☆連絡会より

・29年度開催の市民交流フェスタについての意見やアイデアを2月のリーダー会で集約し、3月のリーダー会で基本的な進め方を決めます。(1面参照)

・ボランティアセンターの指定管理者が29年度から5年間に於いて社会福祉協議会に決まりました。

☆ボランティアセンターの運営について

・グループ活動記録の提出について

・平成29年度登録ボランティアグループメンバーの活動確認について

・地域福祉振興助成金の申請について

・社協ホームページ掲載のグループ活動内容の更新について2月のリーダー会議で締め切ります。

・活動室利用者案内板の件

☆各グループより
(近況報告省略)



先日地域の小学三年生の子どもたちから「和太鼓の発表会で、力づくよくたく所を見てください」と太鼓の絵と一緒に書かれた招待状をもらい嬉しく体育館へ。演技が始まると大きく手を振り上げ、「イヤ」と掛け声。バチさばきにも迫力があり、一生懸命練習したのでしょうね。孫の姿を見ているおじいちゃん、おばあちゃん嬉しそうに顔。お母さんはカメラや携帯で子どもの姿をパチリと。最後の発表となる六年生の和太鼓もあり、私は自分の孫を見ているような気持ちで胸がいっぱいになりました。日頃ボランティアで子どもたちと接してはいますが、元気をもらった楽しい時間でした。
(ひまわり)